

## CSR 調達・人権問題への取組み

ヤマト インターナショナルグループ（以下、「当社」といいます。）は、「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」というミッションのもと、いつの時代でもお客様に求められ続ける真のブランド創りを実現することで、事業および企業の持続的成長を目指しています。

当社は 2021 年 8 月 6 日に公表いたしました「人権方針の制定に関するお知らせ」に基づき人権尊重の取り組みを進めており、2021 年度より以下の手順で CSR 調達・人権問題に関するサプライチェーンの管理を行っております。

1. 主要第一次サプライヤーに対して当社の人権方針について説明。
2. 主要第一次サプライヤーに対して生産地及び生産工場の状況についてヒアリングを実施。
3. 主要第一次サプライヤーに対して CSR 調達・人権方針アンケートを実施。
4. 上記 1. 2. 3. の年次毎実施による継続的なサプライチェーンの管理および改善。

## CSR 調達・人権方針アンケートの実施概要

主要第一次サプライヤーに対し CSR 調達・人権方針アンケートを実施しました。調査項目は CSR 及び人権問題に関わる 5 つの主要項目から構成されております。

**対象サプライヤー：**当社と取引のある企業（主要第一次サプライヤー）

**調査項目：**(1) CSR にかかわるコーポレートガバナンス、(2) 人権、(3) 労働、(4) サプライチェーン、(5) 地域社会との共生、計 5 項目（計 39 設問）

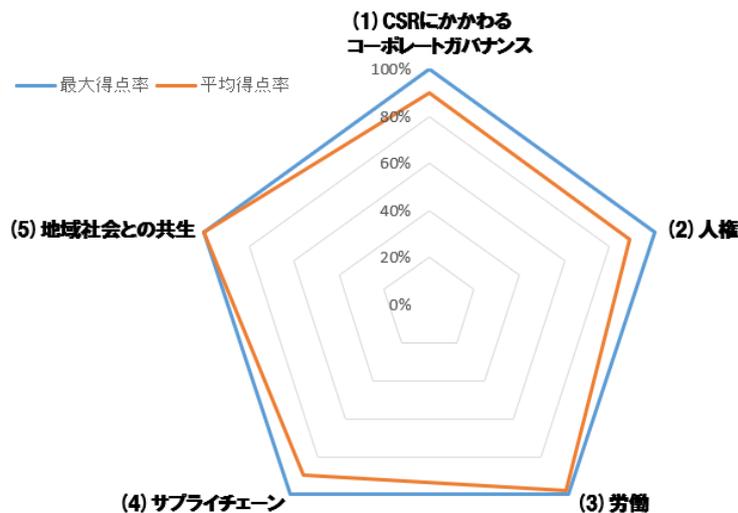
※第 1 回目から新たに人権方針の社内周知とサプライチェーン上での問題確認方法、及びその範囲と救済措置を追加設定致しました。

## 調査結果

調査の結果、全体の平均得点率は、昨年度の調査より高い93%となり、(1) CSRにかかわるコーポレートガバナンス労働(3)労働、(4)サプライチェーン(5)地域社会との共生の4項目において90%代の得点率という結果になりました。なお、(4)サプライチェーンについて、昨年度の調査結果と比較し、若干の平均得点率の低下がみられましたが、これは前記記載のとおり、設問内容に変更・追加があったためであると考えられます。

しかしながら、(2)人権については、平均得点率が80%代後半の結果となり、改善が必要な項目を確認しました。なお、人権方針の社内周知は各社適切に行われていることを確認しました。

ご回答いただいた主要第一次サプライヤーに対しては、本調査結果を送付し、各社において改善すべき項目を改善いただくことをお願いしております。



項目	設問数	最大得点率	平均得点率
(1)CSRにかかわるコーポレートガバナンス	4	100%	90%
(2)人権	10	100%	89%
(3)労働	15	100%	98%
(4)サプライチェーン	8	100%	90%
(5)地域社会との共生	2	100%	100%
全体	39	100%	93%

## 今後の実施について

主要第一次サプライヤーへの CSR 調達・人権方針アンケートを年次毎に実施することにより、状況を把握し、改善が必要と考えられる項目については、サプライヤーとの対話により改善を図ってまいります。

これらの取組みを繰り返し、サプライチェーンの管理を徹底してまいります。

以上

ヤマト インターナショナル(株)

お取引先様 CSR調達・人権方針アンケート の主な項目

NO	大項目	中項目
I	CSRにかかわる コーポレートガバナンス	1.CSR推進体制の構築
II	人権	1.人権に対する基本姿勢 2.人権の尊重と差別の禁止 3.人権侵害の加担、助長の回避 4.先住民の生活および地域社会の尊重
III	労働	1.労働慣行に対する基本姿勢 2.非人道的な扱いの禁止 3.適正な賃金の支払い 4.労働時間、休憩・有給休暇等の公正な適用 5.強制労働の禁止 6.児童労働の禁止 7.操業する国や地域の宗教的な伝統や習慣の尊重
IV	サプライチェーン	1.サプライチェーンに対する基本姿勢
V	地域社会との共生	1.地域社会への負の影響を減らす取組み